

株主の皆様へ

第52期 中間報告書

平成30年4月1日～平成30年9月30日

株式会社 **オービック**

証券コード:4684

「お客様第一主義」を貫き、経営効果に貢献するため オービックグループは、さらなる進化を目指します

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。当社の第52期中間期(平成30年4月1日～平成30年9月30日)の事業概要および実績をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

おかげさまで本年4月8日、オービックは創立50周年を迎えました。この50年を振り返ってみますと、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなど企業の情報システムを取りまく環境は大きく変化を遂げてきました。当社は、その時代の変化と共に歩み成長を続けてまいりました。絶えず心がけているのは、業務の効率化はもちろん、いかにお客様の収益性の向上、経営効果へ貢献できるかということです。こういった創業以来の「お客様第一主義」を貫き、お客様と共に将来へ成長を続けていくために必要なもの、それは社員力の向上です。そのために当社は、新卒採用にこだわり、人材の育成に注力してまいりました。当社ならではの自社開発・直接販売、開発からサポートまでを自社一貫で行う「ワンストップ・ソリューション・サービス」をご提供するためには、個々の社員の技術の向上と成長が欠かせません。

当中間期も、社員一人ひとりが自らの業務にまい進した結果、当社グループは25期連続の営業増益へ向けて好調なスタートを切ることができました。主力製品である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」が、16年連続で累計導入社数No.1に輝くなど、当社ソリューションは今期もお客様から高い評価をいただきました。クラウドの利用やAIの活用など、生産性向上を目的としたイノベーションへのニーズが高まる中、当社はこれからも「お客様第一主義」のもと、お客様の新たな成長に貢献してまいります。さらなる進化を目指すオービックに、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長／CEO

野田 順弘



代表取締役社長／COO

橘 昇一

中間決算ハイライト(連結)

おかげさまで当中間期も、 過去最高の業績を更新いたしました

当情報サービス業界においては、働き方改革への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は、拡大傾向が見られます。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

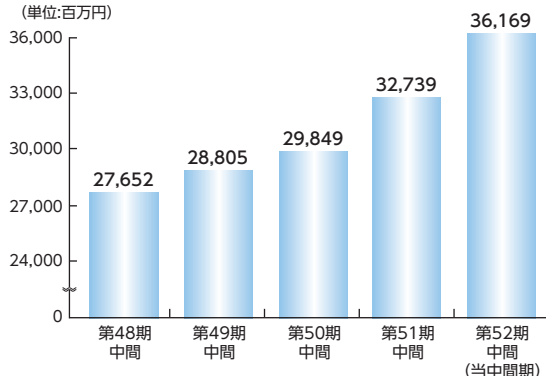
当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、金融業向け、サービス業向け、流通業向け、製造業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。システムの短期導入、早期稼働につながりやすいとして引き合いが強まっているクラウドサービスのニーズにも、顧客に合わせた提案で対応しております。また、クラウド関連施設の増強や顧客向け研修施設の拡張など付加価値向上につながる先行投資も進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高361億69百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益186億4百万円(同16.2%増)、経常利益は206億36百万円(同17.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は157億51百万円(同21.7%増)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいります。

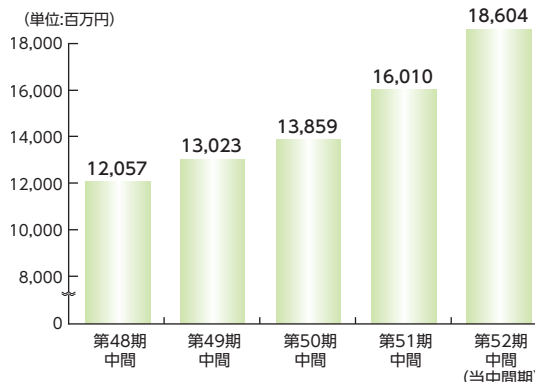
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



積み重ねた経験とノウハウを財産に、 51年目へ新たな一歩を踏み出したオービック

◎ お客様の事業・経営の持続的成長を支える

本年4月、オービックは創立50周年を迎えました。経営の根幹を支える基幹情報システムとして多くの企業にご採用いただいている統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」、幅広い業種で培ってきた課題解決のノウハウを集大成させた業種・業務ソリューション。それらは、長年にわたり幅広い業界へ直販体制で事業展開してきた当社の強みといえます。

各業界のお客様と直接向き合い共に課題を解決する。その取り組みを通し培った実績・経験と数多くの特許技術を駆使して、お客様企業の成長を将来へ向けて支え続けていくことが、当社の使命です。



◎ 信頼のワンストップ・ソリューション・サービス

半世紀の歩みの間に、情報システムの世界は大きく変貌してきましたが、当社が首尾一貫して追求し磨き上げてきたものがあります。

それが、「お客様第一主義」と開発から導入後の運用・サポートまでを自社一貫で行う「ワンストップ・ソリューション・サービス」です。お客様が抱える課題や悩みに直接向き合い、お客様と共に解決を目指す基本姿勢は、クラウド時代の新たな経営情報基盤をお届けする当社の大きなセールスポイントとなっています。



主力製品／統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」

国内ERP累計導入社数16年連続No.1の実績 幅広い業界でOBIC7が選ばれる理由

当社の主力製品の一つである統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、今期も幅広い業界・規模の企業に導入いただき、国内ERP累計導入社数で16年連続No.1*の栄誉に輝きました。

※:2002年～2017年ERP主要ベンダー（ライセンス売上高トップ10）における累計導入社数（株式会社矢野経済研究所調べ）2017年12月現在



ERP累計導入社数



OBIC7 クラウド

1 経営効率

「会計」を軸に、各システムを連携強化、
「経営効果」の最大化に貢献。

2 早期稼働

経営革新にスピードが最優先される時代に、
「クラウド」基盤で「短期導入・早期稼働」へ貢献。

3 業界ノウハウ

豊富な「業界ソリューション」を「クラウド」で提供。
勝ち抜く事業戦略を提案。

4 業務標準化

「会計」目線で、業務プロセス全体の
「標準化・効率化」を強力に推進。

5 ワンストップ・ソリューション

開発・導入・「クラウド」環境まで自社一貫サポート。
真の「ワンストップ・ソリューション」で安定稼働。

全国6都市で独自セミナーを開催 外部主催イベントにも積極的に参加

◎ タイムリーなテーマで大盛況

オービック情報システムセミナー〈2018年夏〉

オービック情報システムセミナーは、“経営の悩み”や“ビジネスの課題”などを解決していただくために、役立つ最新情報や具体的な解決方法をご提供することを目的に、年3回、全国6都市で開催しています。

今期も6月に、『経営を強化する、価値ある情報がここにある』をテーマとしたオービック情報システムセミナー 〈2018年夏〉を開催しました。ビジネストレンドや経営環境の変化に応じて内容を充実。基調講演・課題別セミナー・導入事例研究・個別相談など、東京(6月5日～8日)を皮切りに、横浜・名古屋・大阪・京都・福岡において順次開催したセミナーは、東京会場が来場者数の最多記録を更新するなど、大盛況となりました。



情報システムセミナー

◎ 各種セミナー・イベントにも参加、

オービックの技術・製品を積極的に紹介

外部主催のセミナーやビジネス展示会などにも積極的に参加、当社ソリューションの普及促進に努めました。5月には東京ビッグサイトで開催された「第9回クラウドコンピューティングEXPO春」に出展。導入実績を伸ばしている統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」の最新クラウドソリューションを中心に紹介。7月には、「総務・人事・経理ワールド2018内 第3回会計・財務EXPO」、企業の人事・組織戦略のための専門イベント「ヒューマンキャピタル2018」に出展。その他、6月には信用金庫業界向けの「第19回しんきんコミュニケーション2018」、製造業向け「第29回設計・製造ソリューション展」に出展。オービックの最新ソリューションを強力にアピールしました。



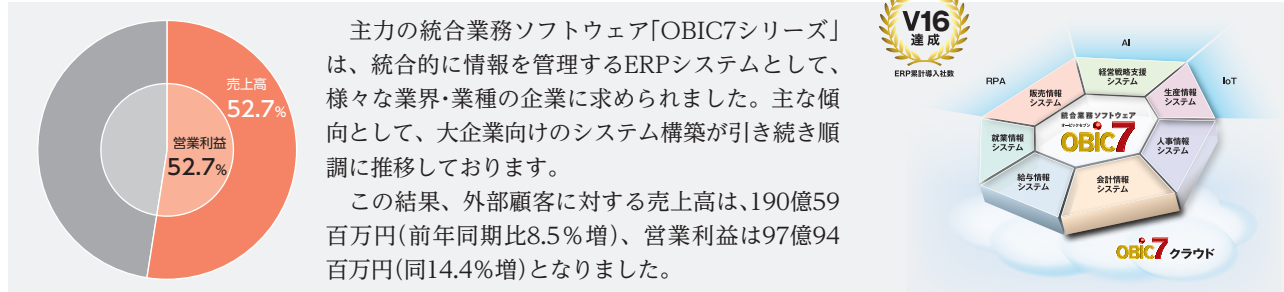
外部セミナーへの出展

営業の概況

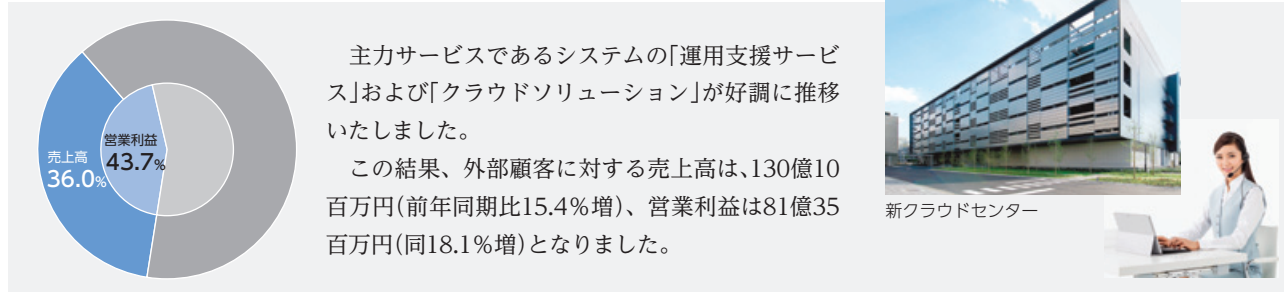
当社グループは、株式会社オービック(当社)および連結子会社1社ならびに関連会社3社等により構成されており、事業は主に企業情報システムのシステムインテグレーション(SI)事業、システムサポート(SS)事業、オフィスオートメーション(OA)事業および業務用パッケージソフト(PKG)事業を行っております。

なお、業務用パッケージソフト(PKG)事業については、関連会社で行っているため、事業のセグメントには含まれておりません。

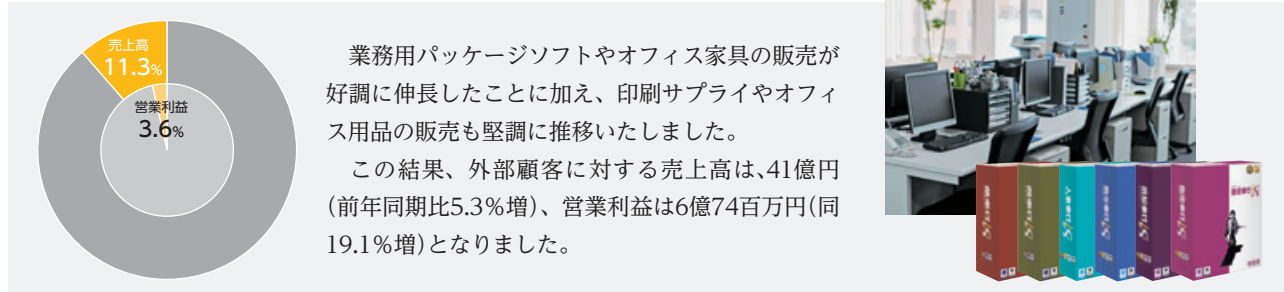
◎ システムインテグレーション(SI)事業



◎ システムサポート(SS)事業



◎ オフィスオートメーション(OA)事業



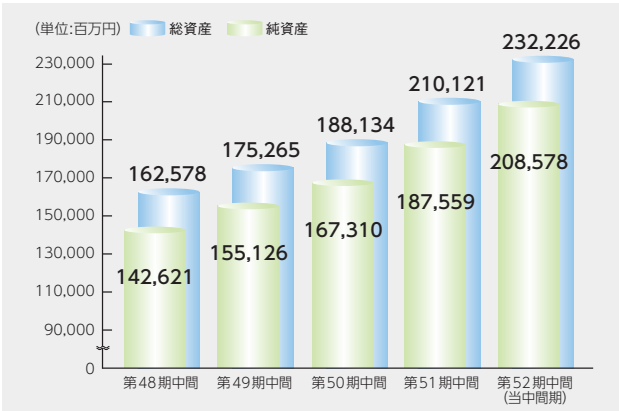
連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前期 (平成30年3月31日現在)	当中間期 (平成30年9月30日現在)
資 産 の 部			
流動資産		119,585	122,494
現金及び預金		109,458	111,105
受取手形及び売掛金		8,795	9,986
その他		1,331	1,402
固定資産		101,675	109,732
有形固定資産		37,814	43,391
建物及び構築物		2,994	2,967
土地		27,849	27,849
建設仮勘定		6,130	11,704
その他		840	870
無形固定資産		112	114
投資その他の資産		63,749	66,225
投資有価証券		59,871	62,828
その他		3,877	3,397
資産合計		221,260	232,226

総資産／純資産



(単位:百万円)

科目	期別	前期 (平成30年3月31日現在)	当中間期 (平成30年9月30日現在)
負 債 の 部			
流動負債		16,671	16,430
固定負債		7,193	7,217
負債合計		23,865	23,648
純 資 産 の 部			
株主資本		191,649	201,396
資本金		19,178	19,178
資本剰余金		19,530	19,530
利益剰余金		175,078	184,825
自己株式		△ 22,138	△ 22,138
その他の包括利益累計額		5,745	7,182
その他有価証券評価差額金		7,406	8,865
土地再評価差額金		△ 1,705	△ 1,705
退職給付に係る調整累計額		44	22
純資産合計		197,394	208,578
負債・純資産合計		221,260	232,226

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)	当中間期 (平成30年4月1日～ 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		11,621	12,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,293	△ 4,711
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,225	△ 6,004
現金及び現金同等物の増減額		3,103	1,647
現金及び現金同等物の期首残高		98,121	109,458
現金及び現金同等物の四半期末残高		101,224	111,105

○ 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

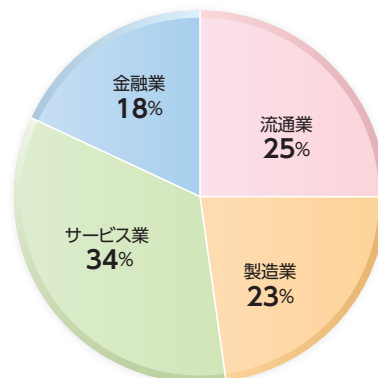
科目	期別	前中間期	当中間期
		(平成29年4月1日～ 平成29年9月30日)	(平成30年4月1日～ 平成30年9月30日)
売上高		32,739	36,169
売上原価		10,758	11,087
売上総利益		21,980	25,082
販売費及び一般管理費		5,969	6,477
営業利益		16,010	18,604
営業外収益		1,571	2,095
営業外費用		56	63
経常利益		17,525	20,636
特別利益		436	960
特別損失		0	0
税金等調整前四半期純利益		17,961	21,596
法人税等		5,023	5,844
四半期純利益		12,938	15,751
親会社株主に帰属する四半期純利益		12,938	15,751

○ 中間連結株主資本等変動計算書(要旨)

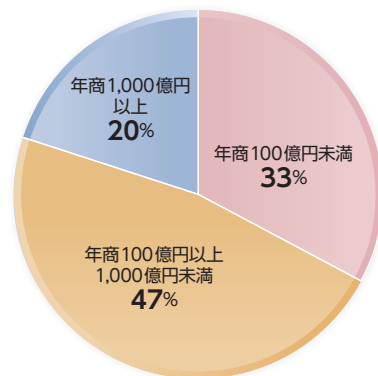
当中間連結会計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日) (単位:百万円)

純資産合計	
平成30年4月1日残高	197,394
中間連結会計期間中の変動額	
剰余金の配当	△ 6,004
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,751
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	1,436
中間連結会計期間中の変動額合計	11,183
平成30年9月30日残高	208,578

○ 販売先情報(業種別)



○ 販売先情報(規模別)



会社概況 (平成30年9月30日現在)

社 名	株式会社オービック
設 立	昭和43年4月8日
資 本 金	191億7,880万円
社 員 数	2,111名(連結)
主要事業	システムインテグレーション事業 システムサポート事業 オフィスオートメーション事業
事業所	東京本社 大阪本社 横浜支店 名古屋支店 京都支店 福岡支店 北関東支店 松本営業所 静岡営業所 広島営業所
グループ会社	株式会社オービックオフィスオートメーション 株式会社オービックビジネスコンサルタント 他2社

役 員 (平成30年9月30日現在)

代表取締役会長	野 田 順 弘
代表取締役社長	橘 昇 一
常務取締役	川 西 篤
取締役相談役	野 田 みづき
取締役	藤 本 隆 夫
取締役	井 田 秀 史
取締役	上 野 剛 光
取締役	佐 藤 登 昌
社外取締役	五 味 康 昌
社外取締役	江 尻 隆 昌
常勤監査役	小 屋 町 朗
社外監査役	坂 和 章 平
社外監査役	長 尾 謙 太

株式の状況 (平成30年9月30日現在)

●発行可能株式総数	398,400,000株
●発行済株式の総数	99,600,000株
●株主数	3,085名
●外国人持株数	36,235,956株
●少数特定者持株数	57,852,280株
●浮動株数 (1単元以上50単元未満の合計)	1,541,826株
●投資信託株数	4,177,190株
●年金信託株数	930,700株

●大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ノダ・マネジメント	16,909	19.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,685	8.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,694	6.40
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	4,438	4.98
野田 順弘	2,881	3.23
野田 みづき	2,781	3.12
エスエスビーティーシー クライア ント オムニバス アカウンド	2,762	3.10
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	2,139	2.40
ジェーピーモルガンチエース オツペンハイマー ジャスデック レンディング アカウンド	1,787	2.00

(注) 1.当社の所有する自己株式10,649千株は、上記の表には含めておりません。
2.上記信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式を含んでおります。
3.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.obic.co.jp

「オービックシーガルズ」が パールボウル(東日本社会人選手権)を2連覇

当社が2003年からスポンサードしている日本社会人アメリカンフットボールリーグ(通称Xリーグ)の「オービックシーガルズ」が、6月28日の東日本社会人選手権「第40回パールボウル」で勝利。2年連続、7度目の優勝を見事に飾りました。秋のリーグ戦も順調に駒を進め、日本一を目指して、熱闘を続けています。一層のご声援をお願いします。



photo by ©DAISUKE KOHNO

50周年記念の特別企画が話題 「オービック・スペシャル・コンサート」

文化・芸術の発展を支援する活動として、2005年から「オービック・スペシャル・コンサート」をお届けしています。9月11日には、東京サントリーホールにて創立50周年を記念したコンサートを開催。小林研一郎氏のパワフルな指揮と「第九」などの迫力あふれる混声合唱団の演奏が会場に響き渡りました。来年3月に大阪、福岡でも開催を予定しています。





統合業務ソフトウェア

オービックセブン

OBIC7

photo by ©Hideki Ishibara

株式会社 **オービック**

Web サイト **www.obic.co.jp**

東京…〒104-8328 東京都中央区京橋 2-4-15

TEL 03-3245-6500

大阪…〒541-0059 大阪市中央区博労町 3-5-1 (御堂筋グランタワー) TEL 06-6245-3231